

西林佳寿子展開催いたしました

ドイツで活動する、コンテンポラリー・ジュエリー・アーティスト
西林佳寿子展 銀座ACギャラリーで5/7(木)~13(土)、SHINKO
STUDIO EDITIONが5/25(木)~28(日)の4日間シンコーストウディ
オ世田谷ショップで行われました。

シンコーストウディオと西林佳寿子は、昨年新たにコラボレイト
したコレクションSurface[面と線]を発表しました。

5/27(土)にはショップに西林本人も来店し、お客様との密接な交流
をはかることができました。

一般的な路面店で、こういったアートジュエリーに触れる機会とは
とても少ないので、普段のシンコーストウディオのお客様、通りがかり
の近所の人も含め、ちょっとした驚きをもって受け入れて頂きました。

人と人のつながりで買うもの

あるお客様と西林は一つのネックレスを「こうでも着けられる。ああでも着けられる。」と色々な方法を模索して
いました。こうなると、つくったアーティストだけではなく、身につける方の創造性によって、ジュエリーが完成するといえるでしょう。アーティストが作品をつくり出したり、それを購入することは、今の大量生産、大量消費の価値観から見ると対極的に小さい個人的なことであるけれども、創造性があるものが、人と人のつながりで買えるということが、なんだかとても健全に思えます。こういうジュエリーを着けていると、どんなときでも笑えるような気がします。寛容で、心地よくて、楽しい。



新作制作を進めています「丁寧に日常を生きる」

人の幸福感などというものは、日々のちょっとした「よかった」の積み重ね。だからこそ日常を大切に、慈しんでいこうという提案。きっと、このテーマは、非日常を演出するものがジュエリーという、一般的なジュエリーの概念とは相反するものと思われがちです。しかし私たちは、表面的ではない本来のジュエリーの役割は日常にある。毎日、ずっと着けていられるジュエリーだからこそ、その役割を担っている、ということ伝えていきたいと考えています。アーティストやクラフトマンが参画していくジュエリーは、とても静かに、しかし力強く、日常の大切さを伝えていく力があると感じています。



西林佳寿子作品 BALANCE

アートやクラフトの世界を少し身近にしてみよう

今私たち、シンコーストウディオが取り組もうとしているのは、メタルワーク（金工・彫金）のアートやクラフトの人たちと一緒にものづくりをし、彼らの仕事を紹介、一般の方々との距離感を縮めること。

次回の新作のテーマは「丁寧に日常を生きる」

アーティストや若手クリエイターの力を借りつつ、日常の生活を慈（いつく）しむことができるジュエリーの制作に取りかかっています。

JAJ ジュエリー・アーティスト・ジャパン

www.jewelryaj.org

シンコーストウディオ代表米井が立ち上げた、若手ジュエリークリエーターのためのコミュニティ。継続的にセミナー、勉強会などを開催しています。

ダイヤモンドセミナー開催しました

5月19日(金)ジュエリー・アーティスト・ジャパン(JAJ)、スタディミーティング第2回「ダイヤモンドのグレーディングと価値」がシンコーストウディオの世田谷のショップで開催されました。

今回は、ワールドシャイナリー・インターナショナル(株)の代表取締役 Shirish Vanmali (シリシュ・ヴァンマリ) 氏の協力を得て、多くのダイヤモンドを実際に見て、触って感じるセミナーでした。



ジュエリー = 着飾る ではない

ジュエリーというと、特別の時、着飾る時に着けるというイメージがあるけれど、本来のジュエリーの存在する意味を考えると、この考え方からもう脱却してもいい時期ではないかと思う。

以前はものを買えることやラグジュアリーな生活をしていることがステイタスだった。けれど、経済発展が行くところまで行ってしまった今、なんだかそういったものが虚像に見えて来た。もっと自分らしく、自分の考えで、自分のやり方で、生きていく方がとても楽に生きられるような気がしています。

もうそろそろ、ジュエリーも自分の考えやライフスタイル、アイデンティティとリンクするものを選ぼう。そしていいものを、長く慈しんで使っていこうよと提案したい。



デザインはただ単にそのジュエリーの形だけではない

「デザイン」というと、大抵がそのものの形を言うけれど、私はそれだけではないと思う。

そこにいたるプロセスや、想いや、そして何より今社会にある問題を解決するのが「デザイン」の意味なのだと思っています。それはとても難しいことなのだけれど、今を生きている人の声に耳を傾けなければいけない。

けれどその一方で、デザインが直接的に何かをすぐに解決できるものでないこともわかっている。たぶん、今日ちょっといいことがあった、楽しかったそういった日々を一緒に過ごして、歴史を刻んでいけるのがジュエリーの役目でだと思う。さらに言えば、親から受け継いだもの、人の想いの詰まっているものには、私たちが今つくっている新しいジュエリーは、逆立ちしてもかなわない。(だからこそリフォームのお手伝いをしています。)

けれど、そこであえて新しいものをつくっていく意味は、今までの既存概念は、今の私たちの生活を苦しめていないか? という問いかけでもある。口で主張するのではなく、ものに語ってもらった方がいい。

そんなことを地道に続けていくことで、私たちは、人がそれぞれ違うのだということ、穏やかに、緩やかに認め合える気がしているのです。

(2017.05.22投稿)

DAIKYU DIARY

shinkostudio.com/daikyublog/

シンコーストúdio代表 米井のブログ「大九日誌-DAIKYU DIARY」からの抜粋です。



Author 米井 亜紀子

アーティスト&クラフトマンが参画して創り上げていくジュエリー、シンコーストúdio代表。若手ジュエリークリエーターのコミュニティ、ジュエリー・アーティスト・ジャパン(JAJ)を立ち上げ運営しています。JAJに興味のある方は下記からコンタクトください。



ジュエリー・アーティスト・ジャパン JAJ
www.jewelryaj.org/

KAZUKO NISHIBAYASHI FOR SHINKO STUDIO

ドイツで活動するコンテンポラリー・ジュエリーアーティスト西林佳寿子とシンコーストúdioのコラボレート作品。



Surface[面と線] K18YG/ WG

キーワードは「多面性」「多様性」。物事は別の角度から見ること、ハッとした驚きやとんでもなく新しい世界が広がってくる。このジュエリーは見る角度により、あるはずのない面が不思議に現れる瞬間があります。人が生きていく上でも、見えているものが全てではない。見えないものが時には真実を語る。

SHINKO STUDIO

ひたむきに生きる人のために
アーティスト&クラフトマンジュエリー

シンコーストúdio AM10:00~PM7:00 水曜日・祝日定休

〒156-0055 東京都世田谷区船橋1-14-12
TEL: 03-3429-8077
Email: info@shinkostudio.com
https://shinkostudio.com



SHINKO STUDIO